

わくわく倶楽部

江口グループ

第184号

令和4年11月発行



待つことの大切さ

江口グループ 代表取締役社長 江口 充

今

月も江口グループわくわく倶楽部のニュースレターをご覧くださいありがとうございます! 皆さんのお手元にこのニュースレターが届く頃、今年の金沢マラソンは終わっています。無事にゴールできていますように…(原稿作成中の今がんばってトレーニングしています)報告はまた来月にでも致します!

渡辺和子さんの「美しい人に愛はほほえむから」という本からひとつご紹介させて頂きたいと思います。

「果

報は寝て待て」などという諺が日本にあったのかと疑うほどに私たちは今日、早く結果を見たいと焦り、待つことを罪悪視するまでになっている。それはめまぐるしい変動の世に当然のことであり、寝て待っている間に事態は変わってしまうのではないかという不安と、結果を今すぐこの眼で見なければ安心できないという不信感のあらわれでもあろう。コンピューターはたちどころに運勢、結婚の相手、成功疑いない事業をはじめ出してくれ、乗り物はおろか銀行の窓口にいるまで、とにかく待たないですむように、待たせないですむようにという配慮がされている。

四季を問わず店頭にある野菜、果物類は、自然の破壊と相まって日本特有の季節感、それは待ちこがれたあかつきに、はじめてしみじみと味わうことのできる春夏秋冬のあの美しい味わいをとりあげてしまった。結果を焦る人々に応えて登場したインスタント文明の落とし子として、そこには自分の欲望と、その欲望の対象との間に時間も距離も置くことができないジェネレーションが生まれた。新聞を賑わす非行、犯罪の数多くは、知能犯というよりもむしろ一時の衝動を抑えることのできない人たち、つまり自分に「待た」をかけることがないままに突っ走った人々の姿でしかない。待つということは、この不完全な世の中に神仏ならぬ身で生きている者にとっては 逃れられない宿命だと思う。短い一生だから待ってなどいられないと言うかも知れないが、そんな短い、死でピリオッドが打たれるような人生だからこそ、まますならぬことも多いのだ。

待っている間はたしかに辛い。しかし待った後の喜びは待たずして得られた喜びと、その質において異なるのである。そうだとすれば、待たないですむ世の中であるかのように子どもたちに教えてはいけない。

ほんとうに子どもの幸せを願う親、教師であるならば待つことの意味と、待っている間のすごし方を自分の生き方で見せるはずではないだろうか。教育そのものが待つことを必要としている。それは種まく者にいつも求められる忍耐と謙虚さであり、蕾(つぼみ)が内からの力で自然にほころびるのを待つ信頼にも似ている。

待

つことが苦手な人は多いなと思います(自分もそうですが…笑)。たとえば、エレベーターに乗ったとき、「閉」ボタンをすぐに押してしまう人。何秒かを待つことができない。あるいは、メッセージを送ったのに、すぐに返事が返ってこないとイライラしてしまう人。また、レストランやカフェ、あるいは役所や銀行などの窓口で少し待たされると激高してしまう人。そして、人との待ち合わせで、1分でも待たされると怒りだしてしまう人。赤ん坊をはじめ、これに近い人は、しばし待てずにダダをこねます。いずれにしても、「待つ」というのは高等な精神活動ですので、これができるような人間性を磨かなくてはいけないのかなと思います。とくに最近は、待てない社会になっています。

最近は、教育も、会社における研究投資も、すぐに結果を求める傾向にあります。「機が熟すまで待つ」というのは成功するための大事な視点であり、余裕のある大人の対応です。待てない人は自己中心的な人に多いそうです。自分のペースでないと納得できず、イライラしてしまうからだといいます。そして、一代で会社を大きくしたような経営者にありがちなタイプの人には、待てません。仕事に限らず、すべてに対してスピード感が優先され、同時に「待つこと」は時間の無駄という意識があるからです。スピードが優先される時代だからこそ…今一度、待つことの大切さを心に刻みたいと思います。

4代目の江口グループ現場だより

大人気のイベント 【こども現場見学会】が行われました。

皆 さん、こんにちは! CHIKACO姉さんこと、総務部の庄源です。

先月の23日の祝日に江口組で大人気のイベント【こども現場見学会】が行われました。今年は初めて、午前と午後の2部開催でした!

午前中は「ラジオこまつ」と協力し、こどもたちがリポーターとなり、現場監督にインタビュー。「どんなアイスが好きですか?」など子供らしい質問ばかり。一生懸命イ

ンタビューをする姿は本当にかわいくて、微笑ましかったです。

午後は、土木クイズ土木Qにみんなに挑戦!! なかなか答えが出ない問題もあり、答えに導こうとヒントを出してあげたかったのですが・・・わたしも難しく、どうヒントを出していいかわからず結局「最初の文字はO!!」というヒントになってしまいました。(笑)

その後は、測量機を使ったゲームや千代田機電さんにお邪魔して重機の試乗体験をして楽しみました♪

たくさんの笑顔があふれたこども現場見学会。将来土木で働きたい! そして、江口組で働きたい! と思ってくれる子がいたら嬉しいです♪



子供らしくかわいい質問に、現場監督の酒井くんはタジタジでした(笑)。



土木Qに挑戦!! 少し難しかったかな?



今年はこのローラー車が大人気でした!

江口組の現場がいつもお世話になっている 海岸のゴミ拾いを皆さんと行ってきました。 綺麗な海を皆さんで守っていきましょう!

皆 さんこんにちは。総務部の村木絵里香です。先月、江口組の皆さんと海岸清掃を行いました。安宅の森田観光周辺と、自転車道路周辺のゴミ拾いを中心に行いましたが、発泡スチロールなどの大きなゴミから、ペットボトル、空き缶などの小さなゴミまで沢山集まりました。

毎 回のこととなりますが、ゴミを減らしていくにはひとり一人のゴミに対する意識向上が一番大切だと思います。これからも小松の綺麗な海を守るため、皆さんで協力し、ゴミはゴミ箱に!を徹底していきましょう!

当日は天候が悪く、肌寒い中での清掃活動となりましたが、皆さんご協力いただきありがとうございました!



清掃前に集合写真を撮りました



自転車道路周辺



森田観光周辺

このニュースレターの他に、江口組公式SNSでも頻繁に情報を発信しています。いいね、フォロー、登録を



(株)江口組公式 Facebook ページ

www.facebook.com/eguchigumi/



(株)江口組公式 Twitter

@eguchigumi

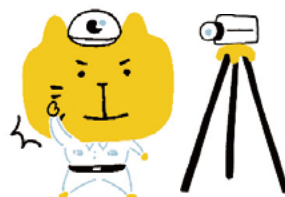


土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。
皆様のご近所で見かけた時はよろしくお願ひします(^ ^)/



えぐの現場通信 その3

こんにちは、えぐです。土木現場では、目的に応じて様々な種類の測量機器を使用しています。先日行われた『子ども現場見学会』では参加者の方々に2種類の測量機器を体験していただきました。子供も大人も初めての体験ながらも、工事現場内に設置した目標物を上手に探して盛り上がっていました♪



● レベル

レンズを覗いて、視準線(+の印)をスタッフ(標尺)の目盛りに合わせて、高さ^{タカ}を測定します。水平出しや高低差の測定などの水準測量に使われます。

● トランシット

目標物をレンズで視準し、水平と垂直方向への回転させることによって、基準からの水平・鉛直^{オビ}角度や距離^{キョリ}を測定します。



クリエイション江口の
高橋です(*^^*)

【住宅防音事業】について



こんにちは。クリエイション江口の高橋です。

紅葉の季節ですね。山がキレイなのでドライブに行きたくなります。11月は誕生月でもあるので、季節の中でこの時期が一番好きです♪

さて、今回は先月末まで工事をしていた【住宅防音事業】についてです! 小松市、能美市に住んでいる方なら、ご存知の方や、すでに工事をした方もいらっしゃるかと思います。

防音工事にもいくつか種類がありますが、今回の工事は【防音建具機能復旧工事】と呼ばれ、一度防音工事をした防音建具の機能を復旧する工事です。防音工事は国から補助金を受けて行えるので、金銭的な負担がかからず出来ます!

今まで施工させて頂いたお客様からは「騒音が少し小さくなった」、「エアコンが新しくなって嬉しい」、「もう少し家を良くしたいと思うようになった」とお声を頂いています。

工事中にお客様とお話ししている中で、防音工事の範囲外の外壁塗装のご要望があり、別途工事をさせて頂いたお客様もいらっしゃいます。

工事についても色々お伝えしたい所ですが、直接お話しできればと思いますので、防音工事で気になった事や手続きでのお困りなどございましたら、ぜひ高橋までお気軽にご連絡ください!



↑お問合せフォームは
こちらから



して現場や社内の様子、社内行事、現場監督の働きぶりを見てください! 毎日どれかは必ず更新しています!



(株)江口組公式 Instagram
eguchigumi



(株)江口組公式 YouTube
えぐチャンネル!



スタッフ通信

クリエイション江口
村上 昌洋



総務部
渡邊 友浩



こんにちは。
秋も深まりましたね。
今年は久しぶりに紅葉を見に行けたらいいなと思っています。
今月も“修学旅行の思い出”です。



広島・姫路京都に行った。
姫路で乗った、
フリーホール!!
初めて乗った
思い出の乗物。

冬の北海道に4泊5日の修学旅行でしたが、
初日は大雪で空港に着陸できず、結局石川県に
戻りました。
次の日も大雪で、空港上空で2時間ほど機内待機
がありましたが、何とか着陸できました。
しかし、1日半が無駄になってしまいました…

工事部
浦 直之



正直に言うと、修学旅行は
あまり覚えていません。(汗)

高校生の頃、部活動で行った九州遠征が
記憶に残っています。初めての博多ラーメン。
美味しくて、皆で替え玉 何杯食べれるか
競い合った思い出があります(^-^)

工事部
小山 南海子



沖縄

高校生の時の修学旅行で行った沖縄は
目に映るもの、こと、すべてが美しかったです。
10月でしたが夏服でちょうど良く、天気にも
恵まれて最高でした!

工事部
吉田 涼太郎



沖縄の青の洞窟



ご意見・ご感想などがございましたら
SNS または 同封してあります
アンケートハガキにてご連絡下さい!!



発行元

EGUCHI

江口グループ

株式会社 江口組

小松市殿町2丁目66番地
TEL.0761-24-1311代
eguchigumi@eguchi-group.co.jp